

令和6年度 稲沢市地域自立支援協議会 第1回就労支援部会 議事要旨

【日 時】令和6年5月14日（火）午後2時～午後3時40分

【場 所】稲沢市役所 第1分庁舎 2階 第3会議室

【出席者】就労支援部会委員5名 事務局5名

【欠席者】1名

【議 事】

あいさつ

1 報告事項

(1) 稲沢市障害者計画等について 「就労」に関する部分を抜粋して事務局から説明
(質疑等なし)

(2) 障害者の雇用状況等について 一宮公共職業安定所所属委員から説明

委員 A 支援機関側からすると、製造業の障害者雇用はそれほど難しくないと感じる。製造業だから難しいというよりは、事業所の規模によるのではないか。個人的には建設業、教育・学習支援業が難しいと思っている。

製造業は、写真付きのマニュアルが目の前にあったり、繰り返しの作業があったりするので良いと思う。

部会長 企業側からすると、根本的に障害者雇用を進める姿勢が積極的であるか、経営者次第ではあるが、製造業は受け入れやすいと思う。ものをつくることが製造業の一番のセールスポイントだが、ものをつくるためには準備など、生産性とは全く関係ない仕事もある。そういったところを障害者にやっていただく。もしくは品質を確定するような仕事や、危険を伴うような機械の作業を割り当てないこと。雇用を進める上では、経営者はもちろん、窓口になる部署の協力が絶対必要になる。製造業は半数近く未達成のため、今年の目標は、その中の数社が事業に参加してもらえるよう、取り組めると良い。

委員 C 中小企業は特にそうだが、企業はトップの考えひとつ。まずは、法定雇用率や社会貢献という意味の位置づけで説明し、理解を求めていくしかない。その中で、隔月程度になるとは思うが、6月から会報誌に障害者雇用に関する情報を掲載する予定。

委員 A 障害者雇用未達成の企業に対し研修を行えると良い。未達成企業に響く活動を行いたい。企業訪問の際に見学会のチラシを持っていくこと、さらに指導していただくことは可能か。

委員 B 可能。

部会長 ハローワークの協力は大きなポイントになるため、協力願いたい。

(3)障害福祉サービス事業等について 報酬改定の内容を抜粋して事務局から説明
(質疑等なし)

2 協議事項

(1) 障害者の就労環境の充実（令和6年度の活動について）

1) 障害者雇用の普及促進に関して

- ・ 学習会・見学会事業について
昨年度の活動内容について、事務局から説明
- ・ 見学先企業について
新たな見学先候補の企業について、事務局と部会長で事前訪問したことを報告
- ・ 商工会議所ニュースについて
障害者雇用に関する記事を、今後掲載予定であることを報告

2) 雇用企業と福祉事業所の連携強化に関して

- ・ 見学会事業での生産品紹介について
昨年度の活動内容について、事務局から説明
- ・ 福祉まつり（仕事紹介、企業相談会）について
昨年度の活動内容について、事務局から説明
- ・ 障害者理解、就労支援に関する研修会について
昨年度の活動内容について、事務局から説明

部会長 今年度の活動についてだが、企業見学は必要と考えている。一方で、オンライン学習会は参加企業が集まらず未開催となったため、今年度は検討が必要。会社や障害者との距離を縮める目的である生産品紹介も、引き続き見学会で出来ると良い。福祉まつりについては課題もあり、相談会に参加する企業が圧倒的に少なく相談がなかったため、実施するのであれば工夫が必要。その他、研修会など、今年度の活動について意見をいただきたい。

委員 B 指導官レベルからすると製造業は難しい分野の1つではあると思う。私自身、見学会のイメージがあまりわからない。

部会長 まず会社説明を行い、その際障害者のかたの仕事の様子を紹介する。その後、働いている現場を見ていただく。障害者のかたに直接質問をするということを行ったこともある。

委員 B 事務やライン、清掃など担当する仕事の切り分けはしているのか。

部会長 切り分けてはいるが、業種は製造しかやらない。製造の中で清掃の仕事はあるが、わが社で今、それを行っている人はいない。

委員 B そういふところを見学させていただけると、障害者雇用は可能だという話に繋がっていくと思う。

部会長 皆が作業する同じスペース、同じ条件でやってもらい、距離感を感じさせないことが重要だと思う。

- 委員 B まず企業に納得していただくことが大前提で、そこから道を切り開くことが重要。私自身、様々な企業を見てきた中で、これだけ理解のある企業の話聞き、大変ギャップを感じ驚いている。
- 委員 A 私どもがすでに関わっている優良企業は、あえてそこまで学んでいただくこともなく、案内を出すことも躊躇してしまう。
それもあって知らない企業に案内をお出ししたいが、接点がないため、この未達成企業を攻略できたらと思う。
- 委員 D 前回の部会での意見がきっかけとなり、来週24日に商工会議所のイベントで、いなざわ特別支援学校としてブースを出せることとなった。学校の宣伝をし、興味を持っていただければ、企業見学会の参加者も増えるのではないかと期待している。別件でも中小企業同友会を通して、学校見学に数社来ていただいている。
- 事務局 一宮のオンライン学習会に、稲沢市も参加するという件はどうなっているか。
- 委員 A 一宮市では自立支援協議会ではなく、ハローワーク主体でやってはどうかという話が出ている。
- 事務局 事務局としては2市で合同開催という選択肢はあってもいいかと思う。
就労支援部会として進めてもよいか。
- 部会長 良い。どのように話を進めていけばいいか。
- 委員 A 稲沢市が合同で開催可ということであれば、双方で話し合っ進めていかなければいけない。この話を一宮市の就労支援部会委員に伝え、また報告する。
- 部会長 企業見学会は必要性が高い。新しい企業の紹介もある中で、具体的にどうやって行くか、事務局でまとめ、次回の部会で具体的に内容を詰めていきたい。
商工会議所、特別支援学校との連携も重要な事項であるため、今年の中盛りに盛り込んでいくこととする。